

大多喜町第4次総合計画・大多喜町人口ビジョン・
第3期総合戦略策定に係る
住民広聴会(ワークショップ)報告書

目次

I	住民広聴会の概要	1
1	住民広聴会の目的と役割	1
2	住民広聴会の運営方法について	1
3	住民広聴会の内容	2
II	全体の方向性	3
III	各地区の意見	11
1	総元地区	11
2	大多喜地区	16
3	上瀑地区	24
4	老川地区	28
5	西畑地区	35

令和6年11月
大多喜町

I 住民広聴会の概要

1 住民広聴会の目的と役割

(1) 目的

大多喜町第4次総合計画及び大多喜町人口ビジョン・第3期総合戦略の策定においては、幅広い関連分野の体系が整った計画であることが求められるとともに、その策定過程が何より大切です。したがって、専門家や行政職員だけでなく、当事者＝町民参加・参画が最も重要なポイントとなります。

そこで町民の参画のもと、第3次計画の振り返りを行い、第4次計画における方向性や取組に関する意見を伺うことで、計画の推進（PDCA サイクル）における町民の参画を図ることを目的として、住民広聴会を開催しました。

(2) 役割

住民広聴会では、次に掲げる事項に関して、町民が協議を行い、その中で出た意見やアイデアを住民広聴会報告書として、庁内の総合計画策定組織に提案します。

- ①町民の視点で大多喜町を「住みよいまち」にするために何が必要か考えます。
- ②大多喜町の各分野の方向性を導き出します。
- ③大多喜町の特性と課題なども踏まえ、施策の大綱（各分野）の解決策に反映します。

2 住民広聴会の運営方法について

住民広聴会において、総合計画の推進における地域課題や、これを踏まえた今後の方向性を検討するためには、ご参加いただいた皆様になるべく多くの意見を出していただくことが、重要となります。そこで、住民広聴会での話し合いは、KJ法を用いて実施しました。

(1) KJ法について

「KJ法」とは、話し合いの中で出されたアイデアや意見、情報を1枚ずつ小さなカード（ふせん紙）に書き込み、それらのカードの中から近いと感じるもの同士を2、3枚ずつ集めてグループ化していき、それらを小グループから中グループ、大グループへと組み立てて図解していくことです。このような作業の中から、テーマの解決に役立つヒントやひらめきを生み出していくとする技法の1つです。

(2) ワークショップの基本的な流れ

- ①テーマに沿って意見を出し合う。
- ②話し合いながら意見をまとめていく。

3 住民広聴会の内容

住民広聴会は、5地区で各1回開催し、協議を行いました。開催内容は、以下のとおりです。

地区名	日時	場所	参加者数
総元地区	10月3日(木) 19:00~21:00	総元体育館	24人
大多喜地区	10月5日(土) 17:00~19:00	役場大会議室	26人
上瀑地区	10月6日(日) 17:00~19:00	上瀑ふれあいセンター会議室	24人
老川地区	10月8日(火) 19:00~21:00	基幹集落センター会議室	29人
西畑地区	10月10日(木) 19:00~21:00	農村コミュニティーセンター 体育館	35人
内 容	1 開会 2 町長あいさつ 3 総合計画について 4 住民広聴会ワークショップの実施 5 閉会		

Ⅱ 全体の方向性

住民広聴会において、「定住促進」「にぎわいづくり」「高齢化対策」「その他」の4分野を設定し、各分野の強み、弱み（課題）、方向性、実現するための取り組み・アイデアなどを協議しました。

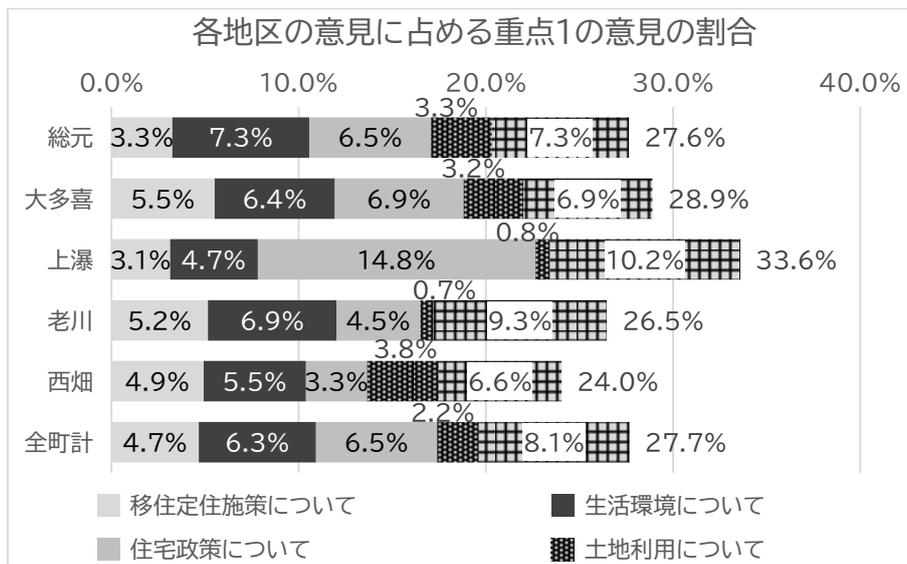
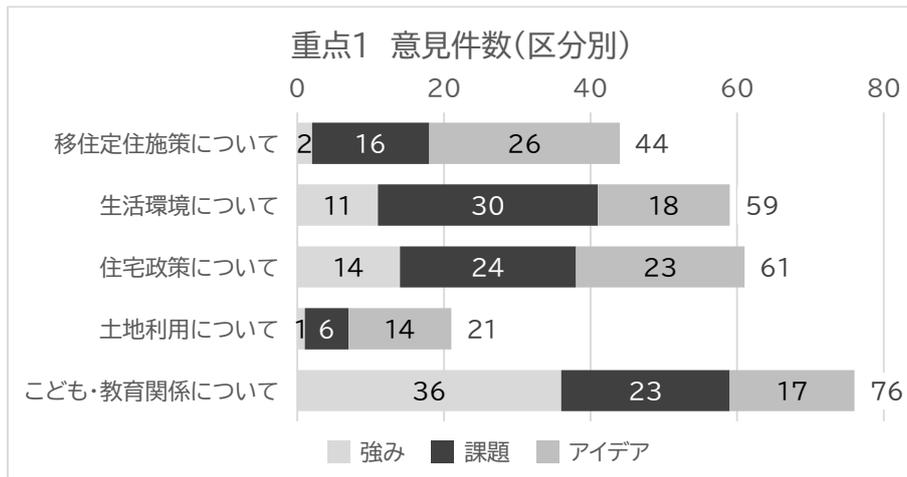
町全体や各地区でみられた代表的な意見は、以下のとおりです。

1 重点1 定住促進プロジェクトについて

重点1 定住促進プロジェクトについては、大きく分けて「移住定住施策について」「生活環境について」「住宅政策について」「土地利用について」「子ども・教育関係について」のご意見が挙げられています。

意見区分別にみると、「子ども・教育関係について」では強みに関する意見が多い一方、「生活環境について」「住宅政策について」では課題が多くなっています。

各地区の意見に占める重点1の意見の割合をみると、上瀑地区では「住宅政策について」が多く、重点1の意見の割合も多いなど関心が高くなっています。また、「子ども・教育関係について」はどの地区でも6%以上と、地区を問わず関心が高くなっています。



代表的な意見

代表的な意見の一覧は、以下の通りです。

住宅政策や土地利用については、多くの地区で共通した課題が挙げられた一方、生活環境（買い物等）については地区ごとに状況が異なります。

	町全体の強み、課題、アイデア	地区の強み、課題、アイデア
移住定住施策について	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の流出が課題（老川、大多喜、上瀑） ・結婚支援が必要（大多喜、総元） 	(特になし)
生活環境について	<ul style="list-style-type: none"> ・遊ぶところや娯楽がない（老川、大多喜、西畑） 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物が不便、商店がない・少ない（老川、上瀑、西畑、総元） ・新しいお店が増えている（大多喜） ・町中に近い（上瀑）
住宅政策について	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅や住宅地が不足している（全地区） 	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅の改修による劣化対策が課題（総元）
土地利用について	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な土地利用が必要（老川、大多喜、上瀑、西畑） 	(特になし)
子ども・教育関係について	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援が充実している（全地区） ・特色ある高等学校教育を行っている（老川、大多喜） 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が遠いなど通学の負担が大きい（老川）

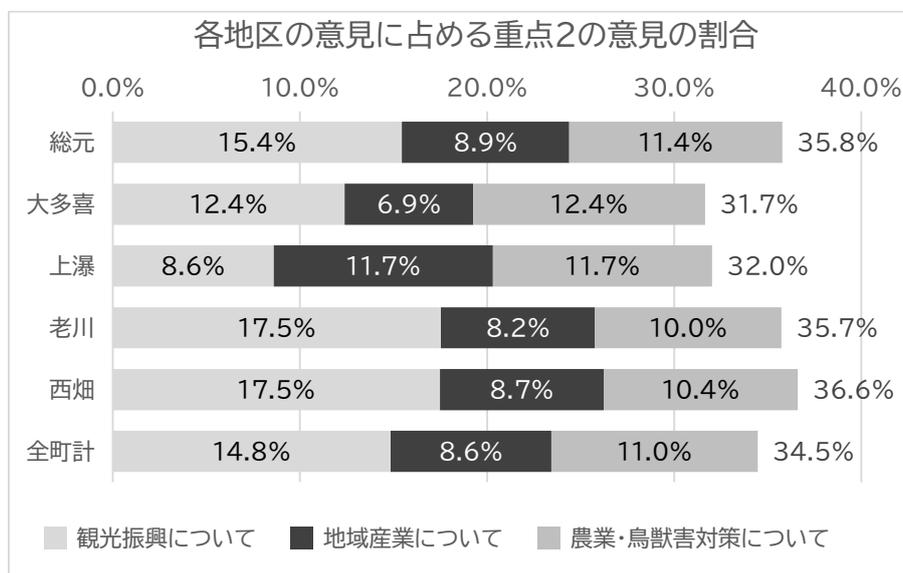
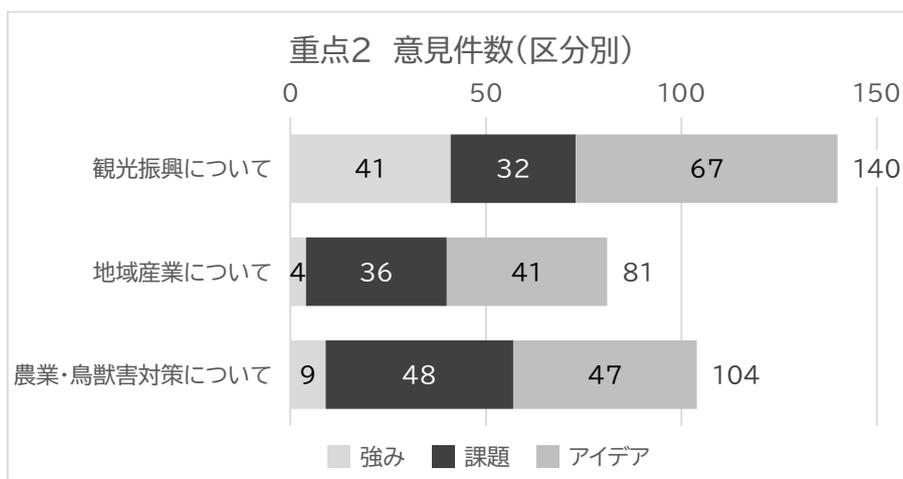
(カッコ内は意見が出された地区名です)

2 重点2 にぎわいづくりプロジェクトについて

重点2 にぎわいづくりプロジェクトについては、大きく分けて「観光振興について」「地域産業について」「農業・鳥獣害対策について」のご意見が挙げられています。

意見区分別にみると、「観光振興について」では強みに関する意見が多い一方、「地域産業について」「農業・鳥獣害対策について」では強みに比べて課題やアイデアが多くを占めています。

各地区の意見に占める重点2の意見の割合をみると、他地区と比べて上瀑地区では「観光振興について」の割合が少ない一方で、「地域産業について」の割合は他地区よりも多くなっています。また、「農業・鳥獣害対策について」はどの地区でも10%以上となっており、地区を問わず関心を持たれています。



代表的な意見

代表的な意見の一覧は、以下の通りです。

いずれの項目においても、多くの地区で共通した意見が挙げられた一方、特に観光振興においては、地区ごとの特徴を踏まえた課題やアイデアが挙げられました。

	町全体の強み、課題、アイデア	地区の強み、課題、アイデア
観光振興について	<ul style="list-style-type: none"> ・お城をはじめとする歴史的な町並みがある（老川、大多喜、西畑） ・外へのPR（町の周知）が足りない（老川、大多喜、西畑） ・SNSでのPRや宿泊施設の設置等により、観光客の増加を目指す（全地区） 	<ul style="list-style-type: none"> ・中野駅周辺に商業施設等がない（西畑） ・近場の自治体等と連携する（老川） ・古墳の整備（上瀑）
地域産業について	<ul style="list-style-type: none"> ・地域通貨を導入している（大多喜、総元） ・働ける場所が少ない（全地区） ・後継者の確保（老川、大多喜、西畑） 	<ul style="list-style-type: none"> ・電化製品等の工場を作る（総元）
農業・鳥獣害対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣害が増加しており、対策が必要（全地区） ・耕作放棄地への対策が必要（老川、大多喜、上瀑、西畑） ・農産物がおいしい（上瀑、西畑） 	<ul style="list-style-type: none"> ・休耕地を利用できる余地がある（大多喜） ・ジビエ食材等に加工し、商品として売る（大多喜、西畑）

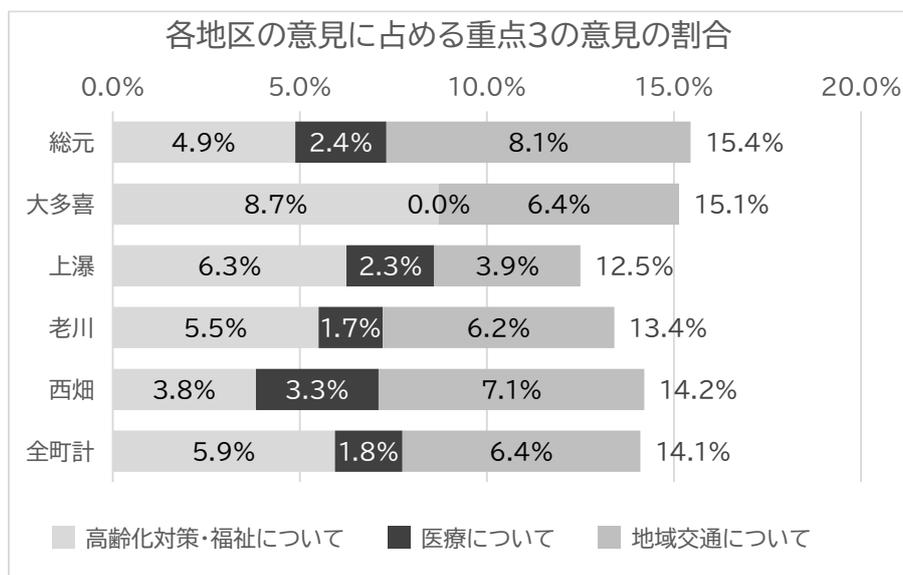
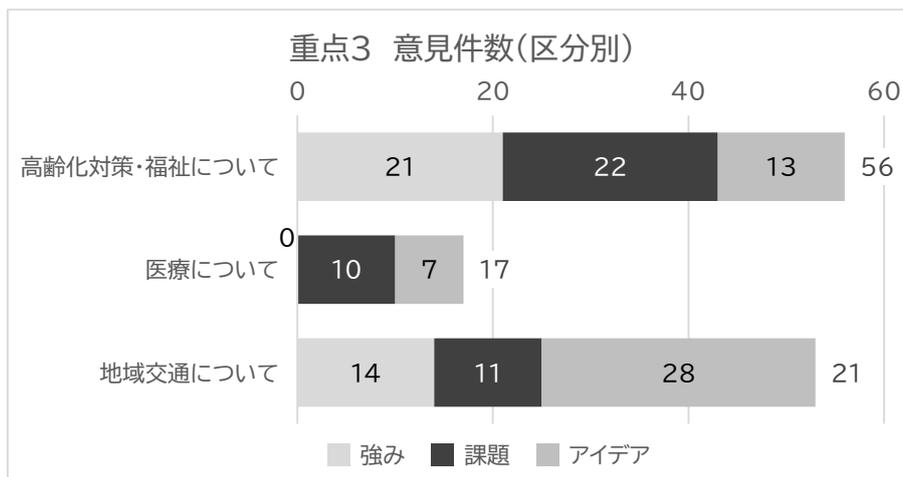
（カッコ内は意見が出された地区名です）

3 重点3 高齢化対策プロジェクトについて

重点3 高齢化対策プロジェクトについては、大きく分けて「高齢化対策・福祉について」「医療について」「地域交通について」のご意見が挙げられています。

意見区分別にみると、「高齢化対策・福祉について」では課題に関する意見が多くなっており、「地域交通について」ではアイデアが多くなっています。

各地区の意見に占める重点3の意見の割合をみると、大多喜では「医療について」の意見が挙げられていない一方、「高齢化対策・福祉について」の割合は他地区よりも多くなっています。また、上瀑以外の地区では「地域交通について」が6%以上と、関心が高くなっています。



代表的な意見

代表的な意見の一覧は、以下の通りです。

いずれの項目においても、多くの地区で共通した意見が挙げられた一方、高齢化対策・福祉や地域交通については、地区ごとに課題が異なります。

	町全体の強み、課題、アイデア	地区の強み、課題、アイデア
高齢化対策・福祉について	<ul style="list-style-type: none"> 各種健康づくり活動が行われている（大多喜、上瀑、西畑、総元） 介護施設が不十分（老川、大多喜、上瀑、西畑） 高齢化率が高い（大多喜） 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の集まる場所がない（老川、総元）
医療について	<ul style="list-style-type: none"> 病院が少ない（老川、大多喜、上瀑、総元） 産婦人科がない、町内で出産できない（大多喜、上瀑） 	（特になし）
地域交通について	<ul style="list-style-type: none"> 町内での公共交通が不便（全地区） 都市部へのアクセスが良い（老川、大多喜、上瀑、西畑） 	<ul style="list-style-type: none"> 通学に時間がかかる（老川、上瀑、西畑）

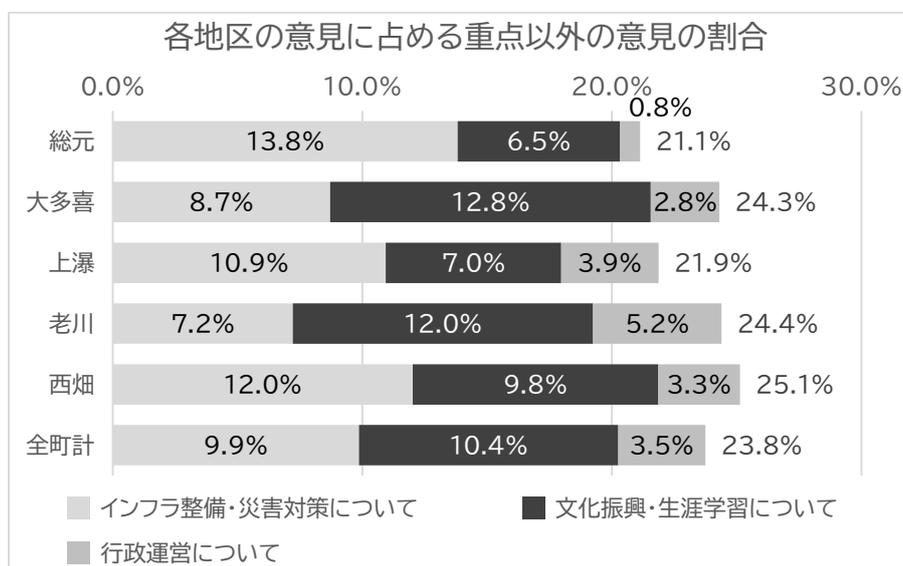
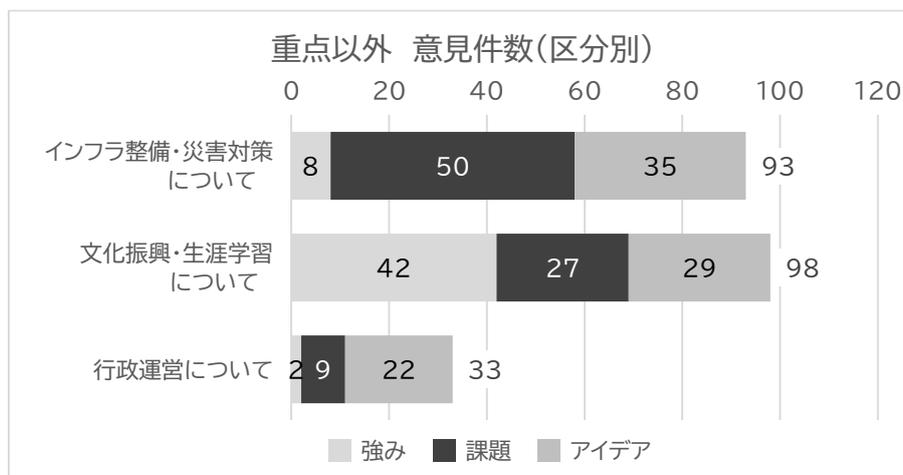
（カッコ内は意見が出された地区名です）

4 その他について

その他については、大きく分けて「インフラ整備・災害対策について」「文化振興・生涯学習について」「行政運営について」のご意見が挙げられています。

意見区分別にみると、「文化振興・生涯学習について」では強みに関する意見が多くなっている一方、「インフラ整備・生涯学習について」では課題が多くなっています。また、「行政運営について」ではアイデアに関する意見が多くなっていますが、他の意見に比べて意見件数は少なくなっています。

各地区の意見に占める重点以外の意見の割合をみると、「インフラ整備・災害対策について」の割合は総元・西畑で多くなっている一方で、「文化振興・生涯学習について」の割合は大多喜で最も多くなっています。また、「行政運営について」の割合はどの地区でも最も少なくなっています。



代表的な意見

代表的な意見の一覧は、以下の通りです。

インフラ整備・災害対策や文化振興・生涯学習については、多くの地区で共通した強みや課題が挙げられた一方、行政運営については町への意見だけでなく地区の運営に対する意見も挙げられました。

	町全体の強み、課題、アイデア	地区の強み、課題、アイデア
インフラ整備・ 災害対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪が少なく、安全 (大多喜、上瀑) ・竹林、山、道路回り等の整備が行き届いていない (老川、大多喜、上瀑、西畑) ・消防団の組織編成を進めるべき (大多喜、上瀑、西畑、総元) 	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水の際、避難所の安全確保が必要 (老川) ・道路を広げる、整備 (老川、上瀑、西畑)
文化振興・ 生涯学習について	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か (老川、大多喜、上瀑、西畑) 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃校を活用している (大多喜、総元) ・地区のお祭りやイベントが減っている (西畑、上瀑、総元)
行政運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・地元職員や議員への待遇を見直す (大多喜、西畑) ・給付金を充実させる (西畑) ・情報提供方法を見直す (老川、大多喜、総元) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区間の連携を密にする (総元) ・地区の役職の簡素化 (上瀑)

(カッコ内は意見が出された地区名です)

Ⅲ 各地区の意見

「○」…強み・良いと思うところ

「△」…課題・改善すべきと思うところ

「☆」…アイデア・今後のまちづくりに対する考え

1 総元地区

① 重点1「定住促進」について

分野	意見
総元地区 重点1「定住促進」	移住定住施策について
	△結婚促進のための支援施策が不十分。
	△定住・移住施策のPR不足。
	☆他地区（他自治体）の成功例を参考に、施策を進める。
	☆人口増加対策として、ベッドタウン構想も視野に入れていいのではないか。
	生活環境について
	○特色のある公園等の整備が進められている。
	△商業施設が少ない。
	△テレビ共同アンテナの設置不足。
	△地区内の特色のある公園等の整備があまり進んでいない。
	☆地区内に新たに公園を作る。
	☆商業用地の開発を進める。
	住宅政策について
	○空家等の活用。
	○空家を活用して、移住促進が進められている。
	○空家バンクを活用していることで、人口が少し増える。
	○リフォームへの補助金があるため、リフォームの促進につながる。
	△住宅地が少ない。
	△住宅政策が不十分。
	△住居不足。
	△黒原の住宅劣化が問題。
	△空家への入居者はいるが、定住ではなく別荘として扱われている。
	△空家の管理が行き届いていない。
	△急傾斜対策不足。
	☆小規模宅地の開発を進める。
	☆住宅の修繕。
	☆空家問題への対策を充実させる。
	☆空家を手放す人に助成金等を支給することで、早く手放す人が増えるのではないか。
	☆空家・空き地を有効活用する。
	☆急傾斜地であることの認識を共有（説明）する。
☆ネット等を活用し、空家のPRを積極的に行う。	

分野	意見
総元地区 重点1 「定住促進」	土地利用について
	☆土地を低価格で売却・譲渡する。
	こども・教育関係について
	○子育て支援が充実している。
	○子どもの遊び場（おたっきーパーク等）がある。
	○三育大学と地域との連携が行われている。
	○三育学院と連携しているところがよい。
	○高校生まで医療を無料で受けることができ、助かる。
	○公園の整備で、こども達の遊び場ができた。
	○給食費が無料となっている。
	○こどもの医療費が無料となっている。
	△子育て支援が不十分。
	△少子化対策が不十分。
	☆休日にも保育を実施する。
	☆こどもの数が多い家庭ほど、補助金も増額する。
☆出産祝い金を増額する。	

② 重点2 「にぎわいづくり」について

分野	意見
総元地区 重点2「にぎわいづくり」	観光について
	○観光客の集まるイベントがある。
	○観光地のトイレの整備が行われた。
	○商店街に店舗が増えた。
	○不動滝のような観光スポットがある。
	△お城まつりを町全体としてのイベントにしてほしい。
	△宿泊施設が不足している。
	△道の駅が老朽化している。
	☆外国人観光客への対応に向けて、道の駅や公共施設へフリーWi-Fiを導入する。
	☆観光客を集めるためのイベントをさらに開催する。
	☆駐車場や道路の整備を推進する。
	☆道の駅をリニューアルする。
	地域産業について
	○地域通貨のキャッシュレス決済が増加している。
	○地域通貨の導入で、消費が増えた。
	△ゴルフのキャディー料金負担。
	△企業の誘致があまり進んでいない。
	△企業の誘致が不十分。
	△雇用の創出があまり進んでいない。
	△地域通貨のPRが不十分。
	☆キャディーが増えれば移住・結婚等により人口増加につながる。
	☆サービスを提供する人材を確保する。
	☆ドローン・太陽光パネル・半導体等の工場を作る。
	☆外国人を呼び込む。
	☆施設や空家をレンタルオフィス等として活用する。
	☆若い世代に向けた地域通貨のPRを行う。
☆地域通貨が利用できる店舗を増やす。	
☆民間のトレーニング事業を行っている企業を誘致する。	

分野	意見
総元地区 重点2 「にぎわいづくり」	農業・鳥獣害について
	○猿の大量捕獲。
	○有害鳥獣対策。
	△耕作放棄地の活用。
	△農業の活性化が不十分。
	△農業等の後継者不足。
	△有害獣の駆除に苦慮している。
	△有害鳥獣対策不足。
	☆ジビエを活用する。
	☆区ごとに有害獣対策組織を立ち上げる。
	☆空家で農業体験をする。
	☆大型の檻を増設するべき。
	☆農家への補助金増額。放棄地を無くす。
	☆農業に取り組む若者を募集する。
☆捕獲者を増員するべき。	
☆役場と企業による合併農業法人を設立し、農業経営する。	

③ 重点3「高齢化対策」について

分野	意見
総元地区 重点3 「高齢化対策」	高齢者・福祉について
	○ぬくもり給食会を開催している。
	○介護施設が充実している。
	○各種健康づくり教室を開催している。
	○健康づくり教室を開催している。
	○健康受診率を維持できている。
	△福祉が不十分。
	△老人クラブが消滅してしまった。
	☆老後の生きがいをいづくりに向けて、老人クラブ等の組織を立ち上げる。
	医療について
	△土日でも行ける小児科が欲しい。
	△病院がない。
	☆病院を誘致する。
	地域交通について
	○送迎バスや時間外保育等、保育サービスが充実している。
	△ライドシェアが未導入。
△公共交通が不便。	
△高速バスが不十分。	
☆利便性が良く、誰でも簡単に利用できる公共交通機関の導入。	

④ その他について

分野	意見
総元地区 その他	インフラ・防災について
	△297号線の渋滞。
	△B&G 海洋センターのトレーニング室の設備が不十分。
	△コンテナホテルがない。
	△ドローンによる航空防除。
	△最終処分場汚染水の受け入れ。
	△指定避難所が旧総元小学校の1つしかない。
	△地区内にプールがない。
	△消防団の人員不足。
	☆インフラが整うと、町税の低下や雇用の創出が期待できる。
	☆コンテナホテルを災害時のことを考えて、購入する。
	☆ドローンを活用する。
	☆旧総元小学校のプールを使えるようにする。
	☆共同アンテナを設置してほしい。
	☆消防団員の負担を軽減する。
	文化振興・生涯学習について
	○JPFの活動がある。
	○旧総元小学校を活用できている。
	○住民主体のイベントがある。
	○大学の健康促進マラソン大会が開催される。
	○地籍調査が行われている。
	△以前まで行っていたイベントで、現在は実施できていないものがある。
	△地域の祭りの実施・継続に向けた保護があまり進んでいない。
	☆旧総元小学校をさらに積極的に活用する。
	☆筍掘り体験等を実施。
	行政について
	△どのような対策をしているのかわからない。
	☆サービスが必要としている人に届くように、情報発信する。
	☆各地区間の連携を密にする。
	☆地域住民に説明が必要。
☆力のある政治家がいること。	

2 大多喜地区

① 重点1「定住促進」について

分野	意見
大多喜地区 重点1「定住促進」	移住定住施策について
	△移住者の歓迎の仕方。
	△移住者の受け入れ環境が少ない。
	△男女の出会いの場が少ない。
	☆まず人口を増やしたい。(子育て、医療費、町営住宅、テレワーク環境への支援)
	☆移住のお試し体験の実施。
	☆移住者・既住者に関するルールを作る。
	☆若者が住宅を建てる際の、土地の無償提供。
	☆進学で町外へ出た若者のリモートワークの支援等があればよい。
	☆人口が増えるように。
	☆人口対策を早急に。
	☆大学生が大多喜町に来るような工夫。
	☆大学生に情報発信等を担ってもらおう。
	☆町全体で婚活イベントを実施すべき。
	☆町中に、誰もが出会える場所の提供。
	☆田舎好きの人を呼び込む。
	生活環境について
	○ショッピングセンターがある。
	○飲食店が増えている。
	○金融機関が近くに複数ある。
	○国道 297 号沿いが賑わっている。
	○新しいお店が次々オープンしている。
	○買い物は近くで済ませることができる。
	△お城の森公園の遊具は夏は熱く冬は冷たく、付き添いが休める場所もない。
	△飲食店が少ない。
	△駅前開発がいまいち。
	△商店街に元気がない。
	△町中の商店が入ってきている。
	△買い物をする際に、スーパー等の選択肢がほしい。
	△買い物弱者対策。
	☆オリーブのマックを駐車場にしてドライブスルーにする。
	☆飲食店重点地区を作る。
	☆駅前の再開発による活性化の推進(病院やアパート等を作る)。
☆居場所の増加(公園等)。	
☆娯楽施設を増やす。	
☆公園に休憩できる場所を作る。	
☆道路周辺の草刈り・町の通り整備・荒れた農耕地の整備等を進め、住む人・観光客が気持ちよく過ごせるように。	

分野	意見
大多喜地区 重点1「定住促進」	住宅政策について
	○空家バンクが、ある程度機能している。
	○空家バンクの活用。
	○空家対策。
	○土地が広い。
	○土地の価格が安い。
	△空家等への対策が不十分（わかりにくい）。
	△住宅が少ない。
	△宅地がない。
	☆空家等の活用。
	☆若い世代が住む住宅の確保。
	☆船子の田を宅地化する。
	☆農家住宅の活用。
	☆分譲地の造成・確保。
	土地利用について
	△企業を受け入れる用地の不足。
	☆農振農用地の解除。
	こども・教育について
	○こども3人目の保育費用が無料。
	○こどもにやさしい町。
	○英検費用が無料になること。
	○学校でタブレットが使える。
	○給食費が0円。
	○給食費が無償。
	○給食費が無料。
	○教育施設。
	○柔道・バスケ等、指導してくれる大人のサポートがとても良い。
	○町・教育に対する積極予算が組める。
	○町・大多喜高校を核としたコンソーシアムの存在（保育園・小・中・高との教育連携）
	△こどもが遊ぶ遊具が少ない。
	△こどもを含む若者の意見が聞こえない（見えない）。
	△リスキリング等の教育を受けられる機関がない。
	△高校生が電車やバスの待ち時間をつぶす場所がない。
	△子育て支援サポートが不十分。
△子育て支援として、高校生までの医療費無償化の実施。	
△若者に対する施策がない。	
△塾が小さい。	
△大多喜町の子育て支援が近隣よりも優れているというような評判は聞いたことがない。	

分野	意見
大多喜地区 「定住促進」 重点1	こども・教育について続き
	☆こどもが雨の日・酷暑・寒い日でも遊べるような施設の整備。
	☆コンソーシアム活動のさらなる充実。
	☆教育のさらなる充実。
	☆子育て支援医療費助成を、近隣と争いが起きない程度に厚くする。
	☆待機児童ゼロの継続。
	☆大多喜高校の部活をオリンピック種目に特化して強化する。
	☆中学・高校でのディスカッション。

② 重点2 「にぎわいづくり」について

分野	意見
大多喜地区 重点2 「にぎわいづくり」	観光について
	○いすみ鉄道がある。
	○インスタグラムでお祭りやイベントを紹介していた。
	○お寺が多い。
	○お城がある。
	○お城が有名。
	○観光スポットがある。
	○観光資源がある。
	○徐々にタイアップがデジタル化している。
	○城下町の雰囲気を残している。
	○城下町独特の街並み等、他自治体にはない魅力がある。
	○大多喜城があるのは大きな強み。もっと活かせれば。
	○町の象徴のお城があること。
	○道の駅がある。
	○筍が有名。
	△ハイキングコースの充実。
	△フィッシングパークの釣り以外の活用。
	△マスコミとのコラボレーションが苦手。
	△レンゲ祭りや城祭り以外の、人を呼び込めるイベントがない。
	△観光資源の有効活用。
	△限りある資源（観光や農産物等）を活かしきれていない。
	△告知やアピールが少ない。
	△宿泊施設が少ない。
△大多喜ダム地の有効活用が中止。	
△竹を推しているが、綺麗な竹林はなく、荒れたところばかりで人を呼べない。	
△文化財の活用と保護。	

分野	意見
大多喜地区 重点2「にぎわいづくり」	観光について続き
	☆いすみ鉄道と小湊鉄道を連絡すれば面白い。
	☆イベント施設（スタジアム）建設。
	☆オフロードバイク・バギーカー等により人が集まる山を活かして進める。
	☆お金をかけず整備する方法の検討。
	☆お城の周りも江戸化していく。
	☆ご当地グルメを作る。
	☆サーキットを作り、活用する。
	☆プロスポーツチームとの連携。
	☆メディアの露出を増やす。
	☆ライブ配信をして、町のおもしろみを拡散する。
	☆駅前イベント（マルシェ）等の開催。
	☆何か名物となるものを探す。
	☆観光大使による告知。
	☆御朱印帳を作る。
	☆山を活かしたサイクリングロードの開発。
	☆思い切って、お城エキスポ全国大会を誘致する。（起爆剤になるかも）
	☆大多喜城を早期に再開できるように。
	☆地域風土に合った特産品を作る。
	☆町に来るメリットをPRに活用。
	☆町プロモーションにつなげる。
	☆町中に、筍の販売ショップを作る。
	☆長南西小のような廃校舎をホテル（農村型民宿）として誘致できないか。
	☆道の駅に温泉施設を作る。
	☆特産品・名物のブランド化。
	☆年間を通して特産品を作る。
	地域産業について
	○地域通貨は続けてほしい。
	△企業の参加がない。
	△勤め先が少ない。
	△後継者の育成が進んでいない。
	△若い経営者が少ない。
	△若い人が働ける場所。
△若い人が働ける場所が少ない。	
△若い人の働き場所が少ない。	
△若い人の働く場が少ない。	
△職場が少ない。	
△町・地元企業への就職促進。	
△働く場所が少ない。	

分野	意見
大多喜地区 重点2 「にぎわいづくり」	地域産業について続き
	☆クラウドファンディング。
	☆コミュニケーションツール・ネットワークの充実。
	☆宇宙センターを呼び込む。
	☆観光を専門とした雇用の創出。
	☆企業経営者で意見交換する会の発足。
	☆企業誘致。
	☆技術職員の確保・育成。
	☆建築士会・不動産・学者・専門家等との連携。
	☆仕事・企業経営者の意見を聞く。
	☆地元企業による就活教育の推進。
	☆地元企業のPR活動。(高校や中学校での企業紹介)
	農業・鳥獣害について
	○ジビエ素材が豊富。
	○休耕地を利用できる余地がある。
	○米作り農家が多い。
	△害獣が増加。
	△休耕田の増加。
	△耕作放棄地の増加。対策。
	△小動物(キョン)の増加。うるさい。
	△水稻での収益アップの対策不足。
	△猪・キョン等への対策。
	△農家の減少。
	△農業の後継者不足。
	△有害獣対策の不足。
	△遊休農地の増加。
	△離農者対策の不足。
	☆高級なキョンの皮等、有害鳥獣動物の加工処理施設や技術者を育ててモデル地に。
	☆ジビエの料理開発。
	☆営農組合の設立。
	☆害獣の駆除、共存。
	☆休耕地・里山を観光農園で活かす。
	☆新規就農。
	☆水稻や飼料米の後継者を育てる。
☆他の町のイベントでジビエを売る。	
☆地産地消方式で増やす。	
☆猪・キョン肉のキャンパーへの提供。	
☆農業の地域おこし協力隊も入れる。(企業化)	
☆農業をもっと活性化し、有名にするべき。	
☆農産物のブランド化。	

③ 重点3「高齢化対策」について

分野	意見
大多喜地区 重点3「高齢化対策」	高齢者・福祉について
	○いきいき体操が行われている。
	○シルバー人材の積極的な活用。
	○現行の健康診断の継続。
	○高齢者が元気。
	○高齢者が元気で明るい。
	○町全体の気質が高齢者にやさしい。
	○町内団体が行っている健康づくり活動の継続。
	△ケアマネージャー・老健施設等、少ない。
	△介護サービスの確保。
	△介護施設が少ない。
	△高齢化率が高い。
	△高齢者の自覚を促すイベント（教室）の不足。
	△特別養護老人ホームの職員が足りていない。
	△老人ホーム等、町営で厳しければ民間事業者を誘致する努力を見せてほしい。
	△老人ホーム等の安価で入れる施設の不足。
	☆高齢者も働ける事業を生み出す。
	医療について
	△医療機関が少ない。
	△産科がない。
	△病院が少ない。
	△貧困な医療環境。
	☆医療施設等の誘致。
	地域交通について
	○アクアラインまで1時間ほどで行ける。
	○車の誘致。
	△バスの本数が少ない。
	△交通が不便で、通勤・通学が困難。
	△交通機能不足。
	△交通手段が少ない。
	△車が必需品のため、生活コストが高い。
	△免許証の返納を躊躇してしまう（車が必須のため）。
	☆いすみ鉄道の利用推進。（危険個所の整備等）
	☆ライドシェアの導入。
☆交通機関の利用時間の増加を推進。	
☆高速バスの復活。	
☆新幹線を大多喜方面に伸ばす。	
☆町から交通費の支援が欲しい。	
☆東京行きのバスを増便する。	

④ その他について

分野	意見
大多喜地区 その他	インフラ・防災について
	○安全な町。
	○定期的に地区でゴミ拾いをしている。
	○犯罪・非行が少ない。
	○犯罪が少ない。
	△インフラ整備が進んでいない。
	△崖崩れの恐れがある危ない崖が多い。
	△街灯が少ない。
	△荒廃した山林の増加。
	△国道 297 号線沿いが暗い。
	△災害対策が確立されていない。
	△自然災害対策。
	△水害対策。
	△竹林が荒れている。
	△町が広すぎて管理が大変。
	△木が腐れている。
	☆NPO 法人等による、移動販売車の導入。
	☆街灯を増やす。
	☆希少な動植物にあふれ、緑豊かな手つかずの自然と共生したまちづくりを目指してほしい。
	☆草刈りの補助。
	☆避難所周辺の携帯電波状況の改善。
	☆消防団の組織編成をすべき。
	文化振興・生涯学習について
	○6 月には水路にホタルが発生する。
	○イベントのポスターが小学校・中学校に貼ってあった。
	○ボランティア活動。
	○ボランティア団体が多く、活発。
	○環境資源が多い。
○近隣地域の交流の場を提供している。	
○自然が多い。	
○色々なイベントが増えてきている。	
○仲間同士のボランティアが増える傾向になっている。	
○町・山・川の自然。	
○農村の風景が良い。	
○廃校の活用。	
○文化遺産が多い。	
△コロナ禍から、集金等が少ないため、活動が縮小。	
△スポーツクラブの人数が減ってきている。	
△ボランティアを育てる。	

分野	意見
大多喜地区 その他	文化振興・生涯学習について続き
	△芸術等を披露する場がない。
	△女性の参加がない。
	△人間関係が縮小化している。
	△地域活動への参加が少ない。
	△歴史的なものを大事にしていない。
	☆インスタフォローすると得する制度等（メリットの形成）。
	☆お祭りへのこども達の参加を増やすため、アピールイベント開催
	☆お祭り等、地区行事の活性化。
	☆観光ゾーン、スポーツゾーン、歴史・文化ゾーンの区分け。
	☆住民の意識改革が必要。
	☆住民の自主的な活動でさらに充実する。
	☆柔道が強いため、「柔道の町」としてPR。
	☆柔道を強化するために、道場の整備等、町をあげたバックアップ。
	☆情報発信するための、若者向けワークショップを実施する。
	☆図書館の移設。
	☆世代交代。
	☆千葉県・文化庁等との連携。
	☆木を伐採し、桜の植え替え（記念樹）によって景観を良くする。
	☆木材に対して付加価値をつけた活用。
	行政について
	○いすみ支庁分庁が残ってくれてよかった。
	△すべてのタイアップが小さい。
	△プロジェクトを知っている人が少ない。
	△女性・若者の意見が反映されていない。
	△役場職員の減少、地元の職員が少ない。
	☆コンパクトシティの充実。
	☆デジタル化に弱い人が多いため、一番できない人に合わせたデジタル推進モデル自治体になってほしい。
	☆寄り場の形成活動を広げる。町が主導することで形成しやすい。
	☆行政が頑張る！力を入れる！
☆若者会議の新設。	
☆他自治体の問題点・成功点の把握。	
☆地元職員の採用枠の拡充。	
☆町で誘致。	
☆町をあげて官・民・業の協働の施策をつくり、行動する。	
☆役場に「デジタルにやさしい課（室）」を作り、全国にアピールする。	

3 上瀑地区

① 重点1「定住促進」について

分野	意見
上瀑地区 重点1「定住促進」	移住定住について
	△若い人の活力がない。
	△若者が転出すると、帰省しない。
	△若者の流出が多い。
	△少子高齢化の原因は何か。
	生活環境について
	○業務スーパー大好き。
	○地区としても町中に近い。
	△家賃が高い。
	△公園が少ない。
	△商店が少ない。
	△店舗の出店が一部エリアに限定されている。
	△夜間、人に会わない。
	☆移動販売。
	住宅政策について
	○宅地分譲が多い。
	○地区的には分譲が進んでいる。
	△宅地が少ない。
	△町として分譲地不足。
	☆アパートを増やす。
	☆空家の活用。
	☆住める場所を増やす。
	☆住宅地の分譲を進める。
	土地利用について
	△農振解除に時間がかかる。
	☆農振を外して自由に売れるように。
	☆農振除外する。
	☆農地転用を促進する。
	こども・教育について
	○こどもの医療費が無料。
	○給食費が無料。
	○小中高がそろっている。
△自然を生かした遊び場がない。	
△大学がない。	
△大多喜高校の人気のない。	
☆教育の充実。	
☆大学に行くと町を出なければいけないのをなんとかしたい。	
☆大学を出た人がさらに知識を得られる専門学校ができると良い。	

② 重点2 「にぎわいづくり」について

分野	意見
上 瀑 地 区 重 点 2 「 に ぎ わ い づ く り 」	観光について
	○駅周辺に観光・町歩きの人が増えた。
	○台古墳群がある。
	○名品店が多い。
	△蛍・花火等のイベントが減った。
	△商店街に人がいない。
	△城祭りに、飽きが来ている。
	△町中のにぎわいがなく、食べ歩きもできない。
	△目玉の施設がない。
	☆SNS の活用。
	☆イベントの宣伝。
	☆お城の周囲の樹木を切る。
	☆お城祭りで、外国人武者行列を行う。
	☆花火を行う。
	☆外国の旅行者を募集して甲冑を着てもらおう。
	☆古墳の整備。
	☆自然動物園を作る。
	☆宿泊場所が町内にあれば良い。
	☆町としての「売り」をもっと打ち出す。
	☆夷隅川の蛇行を利用した舟下りをやる。
	地域産業について
	△企業が少ない。
	△近くに職場がない。
	△若い人の職場が第2次産業に多い。
	△働く場所がない。
	△働く場所が少ない。
	☆企業誘致を促進。
	☆大学を出た人が勤められる大きな会社ができると良い。
	☆大多喜町の資源である土地・林業等を活かした職を多くする。
	☆働く場所を作る。
	☆働く人の確保。
	☆木材をチップ化し、火力を活かして仕事を作る。
	農業・鳥獣害について
	○米がおいしい。
	○洋ラン栽培施設。
	△耕作放棄地が多い。
△耕作放棄地が多くなりつつある。	
△狩猟有資格者がいない。	
△鳥獣害が増加している。	

分野	意見
「にぎわいづくり」 上瀑地区 重点2	農業・鳥獣害について続き
	△農業収入が少ない。
	△農業従事者が少ない。
	△農地の荒廃化。
	☆狩猟者登録の補助、講習・試験の実施。
	☆特産品の開発等、稼げる農業の推進。
	☆農業で生活できるようになれば、目玉(商品)を開発する。
	☆農業会社を作り、運営する。
	☆里山・農地周辺の管理対策。

③ 重点3「高齢化対策」について

分野	意見
上瀑地区 重点3 「高齢化対策」	高齢者・福祉について
	○いきいき体操の実施。
	○高齢者向けのボランティア活動が多い。
	○年とともに引きこもりが多い。
	△高齢者施設が少ない。
	△老後の施設が少ない気がする。
	☆高齢者の一時預かり所を毎日実施。
	医療について
	△町内で出産できる施設がない。
	△老人向けの病院しかない。
	☆大病院の誘致。
	地域交通について
	○交通の便が良い。
	○都心から約1時間の田舎。
	○都内まで1時間30分で行ける。
	○東京駅行のバスがある。
	△交通の不便。
	△交通の便が悪いから町外に住んでしまう。
	△車がないと、どこにも行けない。
	△車がないと生活が大変。
	△通学に時間がかかる。
☆代わりとなる何かしらの交通手段を作る。	

④ その他について

分野	意見
上 瀑 地 区 そ の 他	インフラ・防災について
	○圏央道に近い。
	○国道がある。
	○事件が少なく、平和。
	△災害が多い。
	△山の管理不足。
	△町の草刈りが行われない。
	△道が狭い。
	△避難所が水害の際に使えない。
	△防犯灯が少ない。
	△消防団の虎の穴化。
	△消防団員の任期が長い。
	△消防団員数が少ない。
	☆河川の浚渫工事を行う。
	☆展望を良くする。
	☆道路改良を行い、道を広げる。
	☆消防団員数や活動を見直す。
	☆町にもう一か所、消防署の分署を設けて、消防団の活動を支える。
	文化振興・生涯学習について
	○コミュニティが強い（お囃子、お祭り）。
	○空気がきれいで、緑が多い。
	○自然が豊か。
	○地域ボランティアが活発。
	○田園がきれい。
	△高齢化と少子化で祭り文化が途切れる。
	△里山の風景が崩れていて、荒れ放題。
	☆ボランティアに関わりやすくする。
	行政について
	☆地区の役職の簡素化。

4 老川地区

① 重点1「定住促進」について

分野	意見
老川地区 重点1「定住促進」	移住定住施策について
	△結婚観が変化している。
	△若い人が転出していく。
	△若者を含め、独身者が多い。
	△人がどんどん少なくなってきた。
	△人口の流出。
	△定住促進(推進)の実態がない。
	☆移住者が集まり、町内のいいところを見つける計画を作る。
	☆移住者の積極的な受け入れ。
	☆若い家族を呼び込みたい。
	生活環境について
	○人柄が良い。
	△インターネット環境。
	△飲食店が減った。
	△娯楽がない。
	△買い物が不便。
	△買い物の便が悪い。
	☆移動飲食店。
	☆総合スポーツクラブ。
	☆大型の移動スーパー。
	☆麻雀クラブを作る。
	住宅政策について
	△アパートが高い。
	△空家はあっても情報が少ない。
	△分譲地の不足。
	☆空家を活用して、定住化。
	☆分譲地の販売促進。
	☆別荘(二重拠点)利用。
	土地利用について
	△計画的な土地利用。
	△山林の有効活用ができていない。
	△地主が強く土地売買が少なく、土地の競争力が周りの市町村よりも弱い。
	△土地の有効活用。
	☆計画的な農地の利用。
	☆土地の売買促進。
	☆農地転用への柔軟性。

分野	意見
老川地区 重点1 「定住促進」	こども・教育について
	○高校生まで医療費が無料。
	○高校生まで医療費無料。
	○出産・児童手当が、ありがたい。
	○小中学生給食費無料。
	○大多喜高校と千葉工業大学が提携しているため、タブレットが無料。
	○特色のある保育の実施。(田植え等)
	○保育が充実している。
	△SNS の教育。
	△こどもが少ない。
	△小中学校が遠い。
	△通学等の面で子育てしにくい。
	☆子育て家庭の負担軽減。

② 重点2 「にぎわいづくり」について

分野	意見
老川地区 重点2 「にぎわいづくり」	観光について
	○栗又の滝で水難事故があったことが話題になった。
	○観光拠点がある。
	○紅葉がきれい。
	○最中や会所の蕎麦がおいしい。
	○紫陽花が復活してきた。
	○自然の魚が食べられる。
	○大多喜城等、歴史のある町
	○道の駅や釣り堀。
	○無印がある。
	○無印ができた。
	○無印の宿泊施設。
	○無印良品がオープン。
	○養老川に鮎がいる。
	○緑が多く、観光地が整備されている。
	地域産業について
	○町内企業の数が多いと思う。
	△雇用が少ない。
	△雇用機会の少なさ。
	△後継者不足。
	△産業が少ない。
	△産業林業の衰退。
	△地域活動・消防団活動等、後継者がいない。
	△地元企業が少ない。
	☆企業誘致。
	☆企業誘致し、働く場を作る。
	☆起業者への支援。
	☆今ある産業を守ると同時に、地域にない産業を作る。
	☆小さな開発新規参入の誘致。
	☆地域で困っていることはすべて仕事になる。(地域おこし協力隊の活用)
	☆地域の特性を活かした起業の促進、政府の支援。
	☆地元企業への雇用補助。
	農業・鳥獣害について
△猿、鹿、猪、蛙が出る。	
△猿、猪、キョンが多い。	
△猿・鹿・猪・キョンとの付き合い方。	
△猿・猪等の被害が多い。	
△猿が多くて困る。	
△耕作放棄地が多い。	

分野	意見
老川地区 重点2「にぎわいづくり」	農業・鳥獣害について続き
	△高齢者が畑で野菜を作るが、鳥獣被害があるため、生きがいを失っている。
	△鹿、猿、猪、キョン等、害獣が多い、すぐに増える。
	△鳥獣の被害が多い。
	△米づくりは動物がいて大変。
	△米農家が少なくなった(後継ぎがない)。
	☆動物を集めて自然飼育する、奈良の鹿みたいに観光に活用。
	☆猿を全部捕まえる。
	☆空家バンクとともに、耕作放棄地バンクも行う。
	☆耕作放棄地をもっと活用。
	☆暑さに強い野菜の農家推進。
	☆竹林の持ち主に許可をもらい、1世帯に貸し出して整備してもらい、収穫を楽しんでもらう。
	☆田畑の貸し出し、農業体験。
	☆捕獲した動物の値段を上げる。

③ 重点3「高齢化対策」について

分野	意見
老川地区 重点3「高齢化対策」	高齢者・福祉について
	○年配の方が優しく、面倒見が良い。
	△高齢者が集まる場所がない。
	△高齢者を集めるような対策。
	△身体障害者世帯の家族への手助け。
	☆サービスを提供する人材確保。
	☆老人の集まる場所・場面を作る。
	☆老人ホームの誘致。
	医療について
	△医療機関がない。
	△病院がない。
	☆オリブ周辺に病院があれば良いのに。
	☆オンライン医療の推進。
	☆医療体制の整備の強化。
	☆人口密度が低いため、感染症が流行しない。
	地域交通について
	○おたっくが 400 円で利用できる。
	○都心から 2 時間で来れる。
	△交通が不便。
	△交通機関。
	△交通手段の確保。
	△公共交通が不便。
	△公共交通の少なさ。
	△車の免許がなくなると、生活できなくなる。
	△大多喜中までバスで 4, 50 分。
	☆交通を良くしてもらいたい。
	☆公共交通の数を増やしたり、乗り合い制度を導入。
☆高速バスの見直し。観光客用ではなく、都内への通勤用にし、朝夜の便を増やす。	
☆都内・都心への高速料金補助。	

④ その他について

分野	意見
老川地区 その他	インフラ・防災について
	○紅葉の街路樹が多く、きれいになった。
	△橋が古くなってきている。
	△荒廃農地・山林の増加。
	△災害時の集合場所(老川は洪水になる)。
	△山が多く、土砂災害への不安や孤立問題。
	△草刈りが大変。
	△大多喜を出る辺りから、川幅が狭くなっているため、水害が多い。
	△地区は消防署から遠い。
	△停電が多い。
	△道路が悪い。
	△道路が危ないところが多い。
	△道路の枝草等でバスが傷つき、運転手から嫌がられている。
	△道路環境。
	△部分的ではあるが、県道でも狭い箇所が多い。
	☆県道の周りが国有林で広げられないのであれば、いっそのこと国道にしまえばよいのではないか。
	☆国道 465 号の整備促進。
	☆災害が少ない、災害に強いことをアピール。
	☆森林整備で災害防止し、新事業の開拓をする。
	☆道路照明を増やす。
	☆蛭に汚血を吸ってもらう。
	☆宝くじの交付金をもっと活用。
	☆老川地区に消防分署を作る。
	文化振興・生涯学習について
	○空気がきれい。
	○空気が良い。
	○祭りイベントの充実。
	○自然。
	○自然が豊か。
	○自然環境が素晴らしい。
	○人がやさしい、あたたかい。
	○人が優しい。
	○地域住民同士のつながりが良い。
○緑が多く、川がきれい。	
△人口減少で祭り等が縮小化。	
△地域行事の衰退。	
△蛭が多い。	
☆オープンガーデン・盆栽・山野草展示会等、趣味を活かす。	

分野	意見
老川地区 その他	文化振興・生涯学習について続き
	☆祭りイベントを町全体に分散させる。
	☆自然の良いところを体験。
	☆町内でどこが1番きれいにしているか順番をつけ、美化に力を入れる。
	行政について
	○大多喜委員会が素晴らしい。
	☆あきらめない。
	☆効果のある対策を考える。
	☆地域おこし協力隊の人を中心に、大多喜町全体のプロジェクトを作る。
	☆町の本気度に見える化。
	☆年度ごとに的を絞って対策を行う。

5 西畑地区

① 重点1「定住促進」について

分野	意見
西畑地区 重点1「定住促進」	移住定住施策について
	○若い家族や単身者の方への助成金が充実している。
	○他県より移住者が増えてきた。
	△中年独身が残っていることの対策。
	☆こどもが地元に戻りたくなる対策。
	☆移住者訪問ツアーを開催する
	☆移住民の受け入れ準備。
	☆若い人が住みやすい町にする、町の良いところのアピール。
	☆若い町民がなぜ離れるか考える。
	☆成人の町在住者に援助。
	☆大多喜が住みやすいとアピールする。
	☆町外流出を防ぐための誘致、Iターン促進のための誘致。
	☆留学生を迎える。
	生活環境について
	○公園ができた。県民の森も大多喜町の管理になった。
	△飲食店を増やす。
	△雨の日の遊び場がない。
	△個人商店が消滅。
	△商店がなくなった。
	△町民用温泉がない。
	△店・食事できるところが少ない。
	△買い物対策。
	△遊ぶところが少ない。
	△利便性が悪い。
	☆バスケットボールができる場所を作る。
	☆屋根付きドッグラン。
	☆近所の人々がゆっくり話したり、お弁当を食べたりできる集いの場があると良い。
	☆店舗等誘致。
	住宅政策について
	○空家が少なくなった。
	○空家バンクが良いと思う。
	○住宅建設の支援。
	△空家があっても貸す・売る・壊すの結論が出せないでいる。
△空家が少なく、住みたい人の家がない。	
△空家の有効活用が進まない。	
△空家はあるのに、そのままになっていてもったいない。	
△借家探し。	
△住宅地不足。	

分野	意見
西畑地区 重点1「定住促進」	住宅政策について続き
	△町営住宅の充実。
	△定住促進のための借家が進まない空家がある。
	☆古民家のリフォームにより、定住の促進。
	☆戸建て・裏庭付き町営住宅の建設促進。
	☆地区内の町営住宅の整備。
	☆町でまとめて住宅を作り提供する。一定年数住むと、持ち家になる。
	土地利用について
	○土地がある。
	☆空き地を活用して何かをする。
	☆工場の用地を作る。
	☆土地の開発の足かせになる条例の緩和。
	☆農地を気軽に使えるようにする、田畑所有者のみにしない。
	☆農地を宅地にして家を建てやすくする。
	☆有効な土地利用。
	こども・教育について
	○こども達が自然の中で豊かな体験ができています。
	○学校誘致。
	○出産祝い金・給食費無料・こどもの医療費無料。
	○小学校のサポート先生がたくさん。
	○特色のある保育(英語等)。
	○保育園の園外保育が充実。
	○保育園等で待機する必要がない。
	△こども会の消滅。
	△勤務先が少なく、こどもが都会で就職してしまう。
	△小学校でバスケ・サッカーをやるのに、中学校で部活がない。
	△小中学校が少ない。
	△保育園教育から小学校教育になると、カラーが全く変わってしまう。
☆シングルマザーを呼び込み、こどもも増やす。	
☆中高生に運動指導のボランティアをもらい、地域通貨で報酬を支払う。	
☆保育園はとても良い。小中学校でもっとアクティブラーニングで地域の関わりを増やす。	

② 重点2 「にぎわいづくり」について

分野	意見
西畑地区 重点2 「にぎわいづくり」	観光について
	○お城祭りのように歴史に裏打ちされたイベントがある。
	○キャンプ場が多い。
	○マルシェ等、人がたくさん集まる行事。
	○房総横断の中心、小湊鉄道・いすみ鉄道。
	○歴史ある観光資源が多くある。
	△これといった観光がない。
	△何かやっていた？広告が足りない？
	△外国人観光客が少ない。
	△観光促進を牧場や商工会等に頼りすぎて、自分たちの地区での取組がない。
	△中野駅に飲食するところがない。地域地産のものを食べさせたい。
	△中野駅等、人は集まってもお金を落とす所がない。
	△町の魅力が足りない。
	△売店・休憩所がない。
	△目玉がない。
	△旅行者に心やすらぎの場所が少ない。(駅前)
	☆せっかく城下の町並み整備をしたため、中身も充実させたい。週末だけでも、着物体験、着物を着て歩く、写真を撮る。
	☆拠点づくり。
	☆今ある自然をより美しくレベルアップさせていく。写真に撮りたくなる風景。
	☆自然を活かした企業のワーケーションヒーリングトラベル的な場所として大多喜の自然をアプローチする。
	☆若い人が来てくれる場所、イベントをする。
	☆城下通の商店街再整備。新しい店主を探して再生できないか。
	☆城祭りを地域年次開催。
	☆中野駅に観光施設(足湯等)を作る。
	☆都会の人が心を癒す里にする。(不便を売りにする)
	☆都会の人々へのアプローチにもっと力をいれていく。
	☆豊かな自然を活かして観光に役立てる、外部からのネイチャーガイドを養成する。
	☆恋の出会いの駅として恋の聖地にしたい。「こ」みなと鉄道、「い」すみ鉄道。
	地域産業について
	△企業支援がない。
△企業誘致のための土地用意ができていない。	
△後継者が町外に出て行ってしまう。	
△仕事がない。	
△就業場所が少ない。	
△職場が少なく、生活の基盤がない。	
△働く会社と店が少ない。	
△働く場所が少ない。	

分野	意見
西畑地区 重点2「にぎわいづくり」	地域産業について続き
	☆会社(事業)の設立支援。
	☆企業の誘致場所確保。
	☆企業誘致。
	☆企業誘致を進める。
	☆勤め先がなくても生活できている人を紹介する。
	☆税金の優遇(固定資産税、法人税)。
	☆補助金を使用できる事業をわかりやすく町のホームページにあげる。
	農業・鳥獣害について
	○協力隊の活用で、竹林整備の手伝い。
	○採れたての新鮮野菜を食べて健康的に暮らせる。空気も良い。
	△キョンや猪等の害獣が野放し。
	△害獣対策が進んでいない。
	△休耕農地増加。
	△生産地から消費地になっている。
	△猪が家まで来る。
	△特産の筍の掘り手が高齢化している。
	△農業者の高齢化・人材不足。
	△農地・竹林が高齢者で辞める人が多い。
	△農地が非農地になってきている。
	△農地荒廃。
	△米のブランド化が遅れている。
	△筍や米がおいしい。
	☆ハンターの数を増やして保護区の見直し。
	☆ハンターの報酬増額。
	☆飼料用産物。
	☆食肉加工センターを建てて、ジビエ食材として売る。
	☆草刈りバイトしたい、人とつなぐ仕組みを作る。
	☆体験型の観光(米作り、田植え、稲刈り)。
	☆地産の竹を活かした産業を起こす。
	☆土地・地域に合わせた農産物の発掘。
	☆農業・林業のプロの誘致、雇用の促進。
	☆農地貸し出しの中継ぎ。
☆放置された栗・柿・梅等を活かして特産品を作る。	
☆筍が成長したものを利用してメンマ作りを産業化する。	
☆筍の新しいレシピを開拓して、おいしく楽しめるようにする。	

③ 重点3「高齢化対策」について

分野	意見
西畑地区 重点3「高齢化対策」	高齢者・福祉について
	○おじいちゃん・おばあちゃんに優しい町。
	○はつらつ支援ボランティアの活動が功を奏している。
	○健康レシピの広報。
	○健康福祉課健康教室の参加者が、喜んで参加している。
	○転倒リスク低下。
	△コロナで計画中止されていた高齢者のつどいが再開されなかったこと。
	△介護をしている人の支援。
	△介護人材不足。
	△高齢者サポートの動きが、他自治体と比べて悪い。
	△高齢者の一人暮らしが課題。
	△在宅でのサービス事業者が少ない。
	△若い人と高齢者の交流がない。
	☆子ども達が高齢者宅をまわってボランティア等を行い、ポイント等の成果与える。
	☆ご近所の方同士で顔を合わせる機会、声かけの機会を増やす。
	☆孤立しないように取り組み、対策を。
	☆公的支援と民間支援まとめて紹介する仕組みづくり。
	☆高齢の方にもわかりやすいスマートフォン等の使い方の説明会等の企画。
	☆全体でのボランティアではなく、高齢者一人ひとりのニーズを調査する。
	☆地域で医療介護に対して支援をする。
	地域交通について
	○高齢者の会合時に、乗り合いタクシーを利用できる。
	○高齢者の足対策(タクシーサービス)。
	△交通の便が悪い。
	△地区から中学校に通学しづらい。
	△免許返納後の足がない。
	☆ヒッチハイクできる車を作り、安心して乗れる交通網を作る。
	☆ワゴン・バス・電車に加えて独自のシステムで子どもやお年寄りの方を送迎できるようにする。
	☆圏央道 IC からのアクセス道路を整備する。
	☆自動運転の検証の特区申請し、自動運転自動車の普及を図る。
☆自分の車以外の移動手段の確保。	
☆車を運転する人が多いため、自家用車を使って有料で足になって助けるシステム作り。	
☆町民のためのバス(予約しないで気軽に乗れる)が欲しい。	
☆都市部へのアクセスが充実。	

④ その他について

分野	意見
西畑地区 その他	インフラ・防災について
	△ライフラインの老朽化。
	△荒れている山が多い。
	△災害対策。
	△草刈りが大変で何もできない。
	△停電になりやすい。ライフラインの整備が悪い。
	△道路の周り、木の整備。
	△日陰が少なく危ない場所がある。
	△防災無線が聞こえない。
	△消防団とは？
	☆ウォーキング時の暑さ対策が必要。
	☆フリーWi-Fi。
	☆災害時の連絡、安否確認。
	☆除草(ラジコン除草機)。
	☆草の伸びているところがないようにする。
	☆道を広げる。
	☆道路整備。
	☆農薬を減らしてきれいな川を。
	☆防犯カメラ設置。
	☆無電柱化、電信柱の周りの伐採。
	文化振興・生涯学習について
	○バスケットのチームの活躍。
	○各地区にお祭りやお囃子があるところ。
	○奇数月の第3日曜日に落語会を開催している。
	○自然豊かなところ。
	○神社・お寺が多くある。
	○人が少ないが、お祭りがありお囃子太鼓がある。
	○男塾がある。
	○地元の踊りを皆で踊る会に若手参加者が増えた。町への愛着心が強い。
	△イベントが少ない。
	△まつりが少ない。
	△区の役が困る。
	△自然保護生物が減った。
△少子高齢化で地区の祭りができない。	
△人が少なくなってきた、区の運営が難しい。	
△昔からのしきたりが面倒。	
△昔よりも近所の付き合いが狭くなってきた。	
△川に生き物がいなくなった。	
△地区でお祭りができていない。	

分野	意見
西畑地区 その他	文化振興・生涯学習について続き
	△地元のお囃子がなくなった。
	△町内行事が減り、交流も減った。
	☆「古き良き時代」の令和化。
	☆生涯学習の充実。
	☆自然を活かした観光スポット。
	☆自然を利用したアスレチック。
	☆川を美しくしたい。
	☆大人の部活みたいに集う場を豊富にしたい。
	☆地域行事参加が多くなるように。
	☆町でスポーツ選手を育てる。
	行政について
	△ふるさと納税の返礼品が少ない。
	△給付金の増加。(明石市を参考に)
	△給付金を地域通貨で支給するのは困る。
	△若い議員がない。
	☆議員報酬をあげる。
☆人口減少を見据えた施策。	